

作成日 2019/03/19
改訂日 2021/03/04

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サビ転換塗料
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M210304

2. 危険有害性の要約
GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分3 急性毒性(吸入:蒸気) 区分3 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A 発がん性 区分2 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(肝臓 血液系 呼吸器 腎臓) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(血液系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険	H302 飲み込むと有害 H311+H331 皮膚に接触したり、吸入すると有毒 H315 皮膚刺激 H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ H351 発がんのおそれの疑い H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い H370 肝臓、血液系、呼吸器、腎臓の障害 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
----	---

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置	<p>飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312)</p> <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診察を受けること。(P308+P313)</p> <p>医師に連絡すること。(P311)</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診察を受けること。(P314)</p> <p>口をすすぐこと。(P330)</p> <p>皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。(P332+P313)</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。(P337+P313)</p> <p>汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P361+P364)</p>
保管	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)</p> <p>施錠して保管すること。(P405)</p>
廃棄	<p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
プロピレングリコールモノメチルエーテル	1.0～10.0%	不明	(2)-404,(7)-97	既存	107-98-2
エチレングリコールモノブチルエーテル(ブチルセロゾルブ)	1.0～10.0%	不明	(2)-407,(2)-2424,(7)-97	既存	111-76-2
酸化チタン(IV)	0.1～1.0%	TiO ₂	(1)-558,(5)-5225	既存	13463-67-7
カーボンブラック	0.1～1.0%	不明	不明	不明	1333-86-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること、気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
 付着物を布にて素早く拭き取る。
 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
 外観に変化が見られたり、刺激痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。
 汚染された衣類を取り除くこと。

眼に入った場合
 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
 できるだけ早く医師の診察を受けること。
 直ちに、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
 嘔吐物は飲み込ませないこと。
 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護
 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
 換気を行う。

5. 火災時の措置
 消火剤
 全ての消火剤
 特有の消火方法、消火を行う者の保護
 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置
 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど)を着用する。
 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項
 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い
 技術的対策
 換気の良い場所で取り扱う。
 容器はその都度密栓する。
 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
 取り扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管
 技術的対策
 日光の直射を避ける。
 風通のよいところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エチレングリコールモノブチルエーテル(ブチルセロゾルブ)	25ppm	【最大許容濃度】 20ppm(97mg/m3)(皮)	TWA 20 ppm, STEL -

プロピレングリコールモノメチルエーテル	未設定	未設定	TWA 50 ppm, STEL 100 ppm
カーボンブラック	未設定	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m3 総粉塵 4mg/m3	TWA 3 mg/m3(I), STEL -
酸化チタン(IV)	未設定	0.3mg/m3;【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵1mg/m3 総粉塵4mg/m3	TWA 10 mg/m3, STEL -

設備対策
腐食物質に、作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

保護具

- 呼吸器の保護具 作業を行う場合には適切な保護マスクを着用すること。
- 手の保護具 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。
- 眼の保護具 取扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他 静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	液体
	色	シルバー
臭い		微アンモニア臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		7.5~9.5
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		100°C
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1.12
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性

常温付近では危険な反応はしない。
製品は安定していると考えられる。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

高温を避ける。

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

一酸化炭素などの有害性ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が1034mg/kgのため区分4に該当。
急性毒性推定値が462mg/kgのため区分3に該当。
(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

急性毒性推定値が848.374761ppmのため区分3に該当。

(粉じん・ミスト)

急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

区分2の成分合計が10%のため、区分2に該当。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性

眼区分2Aの成分合計が10%のため、区分2Aに該当。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(呼吸器感作性)

データ不足のため分類できない。

(皮膚感作性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

区分2の成分が1%のため、区分2に該当。

生殖毒性

(生殖毒性)

区分2の成分が10%のため、区分2に該当。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(肝臓)の成分が10%のため、区分1(肝臓)に該当。

区分1(血液系)の成分が10%のため、区分1(血液系)に該当。

区分1(呼吸器)の成分が10%のため、区分1(呼吸器)に該当。

区分1(腎臓)の成分が10%のため、区分1(腎臓)に該当。

区分3(麻酔作用)の成分合計が20%のため、区分3(麻酔作用)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(血液系)の成分が10%のため、区分1(血液系)に該当。

区分1(呼吸器)の成分が1%のため、区分2(呼吸器)に該当。

吸引性呼吸器有害性

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器及び包装		許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code. 航空規制情報	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号		なし
15. 適用法令		
化審法 労働安全衛生法		優先評価化学物質(法第2条第5項) 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) 作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号:79)(1%-10%) プロピレングリコールモノメチルエーテル(政令番号:496)(1%-10%) カーボンブラック(政令番号:130)(5%未満) 酸化チタン(IV)(政令番号:191)(5%未満)
大気汚染防止法		揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2 の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
特定有害廃棄物輸出入規 制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30 年6月18日省令第12号)
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報 の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全デー タシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム 「ezSDS」により作成。
その他	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、 取扱いには十分注意して下さい。